

桜中だより

長崎市立
桜馬場中学校
校長 大塚 潤

いよいよ夏休み

自律した学習者になろう

1学期約70日間(授業日数)が今日で無事終わりました。生徒にとっては「待ってました、夏休み」、保護者にとっては、「イヨイヨキタ、ナツヤスミ」。それぞれの思い

で迎える夏休みがスタートします。
大運動会の成功、中総体での頑張り、キュビナの活用を通じた効果的な学習の展開等、充実した学期となりました。

これも、本校の教育活動への保護者や地域の皆様のご理解・ご協力のおかげと感謝申し上げます。
夏休みは、家族・地域の一員として、正しい判断、行動を心がけて生活



1年生、平和フィールドワーク、頑張りました

可能性も、才能も、花開く夏

どんどん挑戦 ぐんぐん成長

できるよう事前指導してまいりました。

家族の一員としての役割を進んでさせてください。特に勉強を理由にちやほやしないことです。

『自分のために自分でやるものだ』という自覚があれば放っておいても勉強します。

むしろ、今後どのような仕事や生き方をしたいのかという、子どもの「進路」についてご家庭で、じっくり話し合ってください。

目標をしっかりと定め、目標をしっかりと定めることこそ、「学ぶこと」への意欲づけになります。

今日は親子で通知表を見ながら1学期の反省をし、2学期への展望をしっかりと確認した上で、夏休みに入ってもらいたいと思います。

通知表は、1学期を振り返って2学期の目標を立てるためのものです。数字や記号だけを見て、「よかったね」と褒めた

り、「もつと頑張れよ」と励ましたりすることがあります。重要なことは、「どこが良かったのか」「努力すべきことはどこなのか」を具体的に指摘することです。このことを本人に気づかせ、次の課題を明確に指し示します。また、前年度と比べてどう変化したのか、特に進歩・成長したところに目を向けて、これまで努力してきたことを褒め、認め、次の課題を意識させるように励まします。

通知表は、子どもが学習してきたことのすべての成績を表したものではありません。各教科の学習状況の一部を評定したものです。子どもを成長させるひとつの手段として活用したいものです。

お子さんの夏休みを有意義に過ごすことができますよう、ご協力をお願いいたします。

4月からの4か月間、とてもよく頑張りました。桜中生として、とても立派でした。勇躍邁進、大運動会で頑張ったこと、中総体で、仲間の大切さや、日々の練習の大切さ、顧問の先生や保護者の方々に感謝することの大切さについて考えたことなど、みんなの「心の力」は十分に発揮されていました。

一生懸命に授業に集中し、家庭学習を大切に、「学ぶ力」がとつともよく発揮されていました。キュビナの活用もがんばりました。みんなの努力のおかげで、桜中はとても素敵な学校になってきていると思います。夏休みを迎えるにあたり、まず、このことについて皆さんにお礼を言いたいと思います。

夏休みには3つのチャンスがあります。

1つ目「学習の振り返りをするチャンス」

2つ目「生活の振り返りをするチャンス」

3つ目「自分の将来のことをじっくりと考えるチャンス」

終業式

校長講話

1つ目。「学習の振り返りをするチャンス」とは、4月から学習した教科書の内容を復習するチャンス。教科書に書かれてある問題や参考書キュビナをやってみてください。どこが理解できているのか、どこをもっと勉強したいのか、整理してみるとともに、よく理解できていないところを発見する、とても大切なチャンス。特に、よく理解できていないところを発見したら、夏休み中に先生をつかまえて質問をしてください。キュビナにもどんどんチャレンジしてください。自分に必要な学習を自覚し、

夏休みは、自分で判断し、行動することができるようになる。宿題はなるべく早く終わらせ、皆さん一人一人ならではの素敵なチャンスをしっかりと生かすことで存分に楽しんでください。

1つ目。「学習の振り返りをするチャンス」とは、4月から学習した教科書の内容を復習するチャンス。教科書に書かれてある問題や参考書キュビナをやってみてください。どこが理解できているのか、どこをもっと勉強したいのか、整理してみるとともに、よく理解できていないところを発見する、とても大切なチャンス。特に、よく理解できていないところを発見したら、夏休み中に先生をつかまえて質問をしてください。キュビナにもどんどんチャレンジしてください。自分に必要な学習を自覚し、

2つ目「生活の振り返りをするチャンス」

3つ目「自分の将来のことをじっくりと考えるチャンス」

に、よく理解できていないところを発見したら、夏休み中に先生をつかまえて質問をしてください。キュビナにもどんどんチャレンジしてください。自分に必要な学習を自覚し、



詳しくは、本校HPをご覧ください。

粘り強く、意欲的に取り組む夏にしてほしい。

2つ目。「生活の振り返りをするチャンス」というのは、次の点を自分自身に問いかけよう。「自分のスケジュールや健康を自分で管理できたか」「遅刻や欠席をしないで登校することができたか」「いつでも、どこでも、だれでも桜色のあいさつができたか」「言葉を大切にし、互いを認め、励まし合うことができたか」「家族を大切にしたりなど、自分自身に問いかけるのです。自分に問いかけることで、できたことできなかったことを振り返り、夏休みを生かすことが大切。これから的人生をたくましく生き抜いていくための

「心の力」を身に付けるきっかけとなります。

3つ目。「自分の将来のことをじっくりと考えるチャンス」とは、自分が将来、就職する仕事について考えること。就職すること、自分や家族の生活を支え、キャリアと呼ばれる自分の「働く力」を身に付け、自分の夢の実現を追い求めます。人は働くことで、充実感を味わい、生きがいのある人生を実現していきます。また、働くことは、社会を支えること。どんな仕事でも社会を支える力となっているのです。自分は将来、どんな職業がふさわしいのか、そんなことを考えてみる夏休みにするために、様々な出会いの

チャンスを大切にしたい。夏休み中に人生を大きく変えるような運命的な人との出会いを経験し、自分自身の可能性に目覚め、生き方を深く考える人が出てくるかもしれない。人との出会いではなくとも、本や風景文化との出会いの中で自分自身の生き方を考える人が出てきてほしい。伊良林校区祭りや新大工商店街夏祭りもあります。地域の様々な人とふれあうことによって語り合うのもとても素敵なこと。

人間って、自分のことだけを考えていたら、一人分のエネルギーしか湧いてきません。でも、家族のために頑張ろうとすればそれ以上の大きなエネルギーが、そしてふるさと長崎や地域のために貢献しようと思えば、みんなの中にすごいエネルギーが沸き起こってきます。生活とは、いのちを「生」きるいのちを「活」かすこと。命を輝かすとは、普段の生活を大切にするにと。

自分しかない、様々な出会いのチャンスを社会的な活動・地域行事やボランティア活動に参加し

てみてはどうか。人は出逢いによって、自分を外から眺め、より豊かな人生を求めて動き始めます。夏休みの課題、部活動、自主学習、受験勉強、習い事、家族のために自分ができるチャンスをしっかりと生かしてください。

最後に3つお願い。

- 1 規則正しい生活・学習を行い、体や心をだらだらさせない。
- 2 家族・地域の一人として、自分の役割を果たす。
- 3 桜中の生徒として恥ずかしくない行動、誇れる行動をとる。

自分の命も人の命も大切に夏休みしてくださいね。

掲 示 板

- 1 夏季休業期間中の三者面談(二者面談)では、大変お世話になります。
- 2 夏休み中に多くの高校がオープンスクールを実施します。3年生は積極的に参加させてください。生徒の皆さんは、桜中の生徒として観察されていることをお忘れなく。
- 3 部活動は各部の計画に従って実施します。顧問の勤務の都合で、保護者に安全管理、熱中症予防、引率などご協力を求める場合もあります。ご理解・ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。
- 4 虫歯やその他病気の治療が必要な人は、ぜひ済ませてください。
- 5 夏休みの宿題は、全部やって確実に提出するようにご家庭でもご支援をお願いします。
- 6 夏休み中も、土・日および学校閉庁日(10日～15日)以外は「営業中」です。気になることやご相談は遠慮なくいつでもどうぞ。
- 7 夏休み中は「図書室」を「学習支援センター」として開放します。わからないところは先生方に質問することもできます。様々な日程が入って活用できない時間帯や日もありますが、ぜひ、積極的な活用をご家庭でも勧めてください。
- 8 君(3-3)が、7/19～7/24に、東京 関東一円でされる第50回全日本選手権大会(硬式野球)へ出場します。日本一を目指して頑張れー。

夏休みも不審者に注意～自分の命は自分で守るぞ～

- 大声を出したり、防犯ブザーを鳴らすなどして、周囲に非常事態を知らせよう。
- 防犯ブザーを常に携帯しよう。
- 走って逃げるなどして、相手から離れよう。
- すぐに警察に通報しよう。(1分1秒でも早く)
- 警察に通報した後は、学校にも連絡を入れてください。
- できるだけ、相手の特徴を確認しよう。相手が自動車・バイクを使っていたら、ナンバー・色・形・特徴を確認。
- 相手の特徴等を忘れないうちにメモしよう。
- 携帯電話(スマートフォン)や音楽プレーヤーで音楽を聴いたり、操作しながら歩くことは、周囲の状況に気づかず非常に危険だから控えよう。

「イカのおすしー人前」～被害防止のための約束事～

- ・「イカ」 = 知らない人について いか ない
- ・「の」 = 知らない人の車に 乗 らない
- ・「お」 = 太 声を出す
- ・「す」 = す ぐに逃げる
- ・「し」 = 知 らせる
- ・「一人」 = 一人 で遊ばない(できるだけ一人にならない)
- ・「前」 = 出かける 前 に「誰と どこで 何をするか、いつ帰るか」を知らせる。